

【Kushi Aveline Tomoko 久司アヴェリーヌ偕子について】



久司アヴェリーヌ偕子（1923-2001）

大正12年（1923年）島根県仁多郡奥出雲町（旧横田町）生まれ。アヴェリーヌ偕子は、久司道夫と共に生涯に渡り 久司マクロビオティックの教育普及活動に取り組みました。世界の国々で多くの人々に 久司マクロビオティック料理を教え、その料理に関する著書を出版し、健康と人類平和の道を探求し続けました。また米国において久司道夫と共に「自然食品」という言葉を広め、株式会社ミトクの協力のもと、日本の身体に優しい上質な食品、伝統食材、オーガニック食品を販売する米国初の自然食品店を設立し、久司マクロビオティックとともに日本伝統、文化の普及にも尽力しました。久司道夫、久司アヴェリーヌ偕子の功績は、1999年米国国立歴史博物館「スミソニアン」に出版物や、資料がアメリカの歴史資料として永久保存されています。

世界の人々に惜しまれ2001年に逝去いたしました。米国議会ではアヴェリーヌ偕子の業績をたたえ、顕彰決議が行われました。

※詳細は、「久司道夫について」の「略歴」「略年譜」をご覧ください。